

# まつぶしフォトロゲイニング チェックポイント一覧

<p><b>31</b> ピアノレリーフ</p>  <p>左手に松伏記念公園、右手に松伏高校の位置で撮影。</p>	<p><b>36</b> がま</p>  <p>無量寿院本堂内に安置している地藏菩薩坐像は、昭和50年に町指定有形文化財に指定されています。</p>	<p><b>41</b> 宇宙を飛んで</p>  <p>彫刻家 田端優子氏作のブロンズ像。近くには「かぜにのり そらすべやかに とんでゆく」の文字もあります。</p>	<p><b>46</b> 古利根堰</p>  <p>上流側は最大貯水量2,000千m<sup>3</sup>、貯水面積109haに及ぶ松伏溜井となっています。</p>	<p><b>51</b> 旧金杉小滑り台</p>  <p>昭和51年に移転した旧金杉小学校時代の滑り台が2機残っており、くねくね曲がる長い方の滑り台を撮影。</p>	<p><b>56</b> 緑の丘の水辺</p>  <p>自然に近い水環境を整備し、野鳥や様々な生き物の集まる魅力的な水辺を創出しています。木道を入れて撮影。</p>	<p><b>61</b> 金杉神社横槌稲荷</p>  <p>金杉神社には、夜泣きがひどい子にご利益があるといわれる横槌稲荷があります。</p>	<p><b>66</b> 河童石</p>  <p>河川改修記念碑で、水神として祀られています。亀をモチーフとした「亀跌」と言われる台座は美術的にも貴重です。</p>	<p><b>72</b> 双体道祖神</p>  <p>観音寺にある、双体道祖神は長野、山梨、静岡、神奈川県、群馬の5県に限定されているといわれるほどで、埼玉県内では珍しい存在です。</p>
<p><b>32</b> ふれあい直売所</p>  <p>松伏町産の新鮮野菜やお米をはじめ、手作りのお菓子や漬物を販売しています。</p>	<p><b>37</b> 上赤岩香取神社</p>  <p>通称は浅間神社で、その名の通り浅間神社を合祀しています。近くには司馬江漢によって描かれたこともある赤岩渡しがありました。</p>	<p><b>42</b> ははこ</p>  <p>彫刻家 故・三坂制氏作。左が母、右が子で、全体がハートの形をしている像です。</p>	<p><b>47</b> ふくろう</p>  <p>宝珠院本尊である金剛界大日如来坐像は室町時代末期の作で、町指定有形文化財になっています。</p>	<p><b>52</b> かがり火公園</p>  <p>大落古利根川遊歩道を利用する方の休憩や活動の拠点です。天気の良い日は富士山も見えます。</p>	<p><b>57</b> 公園管理センター</p>  <p>まつぶし緑の丘公園では一年を通じて様々なイベントを開催しています。</p>	<p><b>62</b> 大川戸分校跡碑</p>  <p>昭和48年に廃校となった松伏小学校の大川戸分校の跡地に立つ碑。</p>	<p><b>68</b> 中川・大落古利根川</p>  <p>松伏町を流れる3本の川のうち、大落古利根川が中川に合流する地点。川を背景に撮影。</p>	<p><b>73</b> 地藏さん</p>  <p>いつ、誰が安置したかは不明ですが、人々を見守っています。</p>
<p><b>33</b> 飛天</p>  <p>21世紀に大きく羽ばたく松伏町をイメージして作られました。</p>	<p><b>38</b> 鐘楼（源光寺）</p>  <p>梵鐘は昭和19年に戦時中物資供出のためその後しばらく失われたままでしたが、昭和53年に再鑄し、復元されました。</p>	<p><b>43</b> りす</p>  <p>可愛らしいりすの像4匹すべて入れて撮影。</p>	<p><b>48</b> 長屋門</p>  <p>かつて醤油醸造を営んでいた商家の長屋門で、重厚感ある白壁、寄棟造りの瓦屋根が見られます。</p>	<p><b>53</b> 東陽寺</p>  <p>真言宗寺院を巡る関東八十八ヶ所霊場の第77番。境内の3基の庚申塔群には、「三尸」の文字が刻まれた稀な作例も。</p>	<p><b>58</b> 大イチョウ</p>  <p>高さ29m、幹まわり8.3mで、樹齢650年といわれる名木です。昭和7年に県指定天然記念物に指定されました。</p>	<p><b>63</b> 三猿（妙楽寺）</p>  <p>延宝5(1677)年の造立で、「延宝の庚申塔」には、「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿が彫られています。</p>	<p><b>69</b> 築比地下香取神社</p>  <p>神社入口付近には、享保元年(1716)~明治7年(1874)までに造立された町指定文化財の庚申塔11基が整然と並びます。特徴的な赤い鳥居を撮影。</p>	<p><b>74</b> 不動堂</p>  <p>堂の内部には江戸時代後期から昭和戦前頃までの絵馬や額が130点以上奉納されています。</p>
<p><b>34</b> 風車</p>  <p>スペイン風の風車で、展望台から自然豊かな街並みが一望可能。町のイメージキャラクター「マップー」のモチーフです。</p>	<p><b>39</b> 田島神社</p>  <p>境内には、かつて神事や娯楽などの力比に使用された力石が残されています。</p>	<p><b>44</b> 亜空の窓</p>  <p>彫刻家 廣瀬光氏作。「亜空の窓」から顔を出して撮影。</p>	<p><b>49</b> 恐竜</p>  <p>中生代の恐竜「ディプロドクス」。体長8m、高さ3.5mに縮小し、公園のシンボルとして設置しました。</p>	<p><b>54</b> 弘法大師像</p>  <p>本堂をとりまくように畑の中に白く貝が分布し、貝が地面に露出している場所には地下に縄文時代後期の竪穴住居の跡がありました。</p>	<p><b>59</b> 九尺排水機場</p>  <p>広大な田園風景が広がる中に設置されている排水機場を撮影。</p>	<p><b>64</b> 帰依仏塔</p>  <p>光厳寺にある「帰依仏」の文字は、鎌倉時代に来日した一山一寧が、大川戸地区に立ち寄った際に書いた書を写したものとされています。</p>	<p><b>70</b> 築比地上香取神社</p>  <p>鳥居をくぐった先にある境内の社殿を撮影。</p>	<p><b>77</b> 八大龍王</p>  <p>土手の中にポツンと立つ特徴的な形の石造物を撮影。</p>
<p><b>35</b> 宝篋印塔</p>  <p>宝篋印塔とは、墓塔や供養塔などに使われる仏塔の一種のことです。</p>	<p><b>40</b> 田島橋</p>  <p>昭和33年に架設された、中川に架かる橋長40.2mの橋。橋名板の「たじまはし」「なかがわ」の文字を入れて撮影。</p>	<p><b>45</b> うさぎ</p>  <p>公園の中にあり、木の根元に寝そべっている耳の長いうさぎの像を撮影。</p>	<p><b>50</b> 六地藏尊</p>  <p>静栖寺境内。我々素性を浄土に輪廻するよう導き救済する菩薩。6体すべて入れて撮影。</p>	<p><b>55</b> 緑の丘の展望台</p>  <p>晴れた日には、里山山頂から富士山や東京スカイツリーが眺められます。</p>	<p><b>60</b> 八大龍王（中川）</p>  <p>八大龍王は、水に関わる自然を司るとして、雨乞いや河川氾濫の防止などの願いを捧げられてきた神のことで</p>	<p><b>65</b> あぐりスタジアム</p>  <p>いちご狩りや季節の野菜の販売を行っています。のぼり旗と建物を入れて撮影。</p>	<p><b>71</b> 魚沼関香取神社</p>  <p>特徴的なハート形のくり抜きがある社殿を撮影。</p>	<p><b>80</b> 水準点</p>  <p>河川や道路等の正確な高さの値が必要な工事で測量の基準として用いられる水準点ですが、表示までのは珍しい。</p>